

令和6年度 愛知教育大学入学試験問題
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：総合問題（学校教育科学）

問題 I

（出題の意図）

現代の学校教育において重視されている「学び合い」の一形態であるグループディスカッションの心理学的効用や問題について、論説やデータを正確に理解する力と、当該問題についてどの程度自分なりに考えられているかを問う。

問 1（解答）①遵守（または順守） ②挙手 ③連鎖

問 2（解答例）

くじ引きや多数決による決定方法よりも、話し合いによる決定方法

問 3（解答例）

掃除の徹底方法として、教師が掃除の手順やルール、各生徒の役割を一方的に決めて、生徒に清掃を行わせる方法がある。この方法では、生徒が率先して掃除はしないであろう。なぜなら、教師は掃除の意義について、生徒にとってどのような利益があるかを説明していなかったり、掃除の取り組み方や役割などを生徒同士で話し合わせて決めさせていなかったりするからである。

問 4（解答）④（環境的な）外 ⑤評価可能性 ⑥努力の不要性 ⑦手抜きと同調

問 5（解答例）

まず、評価可能性を高めるために、各メンバーの努力や貢献、発言のよかった点についてコメント用紙を用いて伝え合うシステムを導入したり、教師が各メンバーの発言や活動を定期的に記録し、適宜フィードバックを生徒に与えたりする。次に、努力の不要性をなくすために、グループメンバーの学力をそろえたり、グループの人数を少なくしたりして、各生徒の努力が全体の結果に影響することを感じさせる。最後に、グループメンバーの皆が、まじめに取り組みたいと思う討議テーマを、教師が提案して討議させる。

問題Ⅱ

問1

(出題の意図) 基礎的な語彙力を問う。

(解答) ①保障 ②検証 ③様相 ④こうむ ④じんいてき

問2

(出題の意図・評価の観点)

テキスト全体を参照しながら、筆者の問題提起や主張を適切に読み取り、自分の言葉で的確にまとめ上げる理解力や表現力を問う。

(解答例)

学習内容を習得できたかどうかではなく、一定期間の在籍など、年齢を進級や卒業の要件とする立場

問3

(出題の意図)

テキスト全体を参照しながら、筆者の主張を適切に読み取り、その要旨を的確にまとめ上げる理解力や論理的な思考力を問う。

(評価の観点)

- ① 何が「逆」なのか理解できているか (理解力)。
- ② 自身の言葉で説明ができているか (思考力・表現力)。
- ③ 論理的に記述できているかどうか (表現力)。

問4

(出題の意図)

テキスト全体を参照しながら、筆者の問題提起や主張を適切に読み取り、その内容から具体的な課題を考える力を問う。またその課題に対し、自分なりの解決策を考え論理的に表現する力を問う。

(評価の観点)

- ① 問題文の論旨 (筆者の主張) を踏まえ、課題を表現できているか (理解力・表現力)。
- ② 課題に対する解決策を自分なりに考え、自身の言葉で表現することができているか (思考力・表現力)。
- ③ 文章の構成が論理的であるか (一貫性, 明確さなど), 文章表現が適切であるか (語彙力)。